

ヨーロッパで働く女医さん

英語圏以外について教えてください！

from 内藤先生



このインタビュー企画は、チームWADA学生部委員長に任命されたひよっこ医学生の田中が先生たちに質問をたくさんぶつけて記事にし、同じ情報を欲するどこかの誰かに届けばいいな～という気持ちで始めました。気軽に読める留学参考書、みたいなものを目指していきたいですね★

今回の対談メンバーはこちら↓



ゲスト
内藤志歩 Shiho Naito
ドイツ〇〇
University Heart and Vascular
Center Hamburg
心臓外科

インタビュアー
田中絵梨 Eri Tanaka
日本〇〇
大阪医科大学医学部4年生

ヨーロッパで働くにあたって言葉の壁はやっぱりありますか？
先生はドイツ🇩🇪にいらっしゃるとお聞きしましたが、医療現場でもずっとドイツ語ですか？

既読
11:28



内藤先生

全部ドイツ語です。もともと大学の一般教養でとったのが最初ですが、病理の基礎研究の教室がドイツに学生を派遣していたので、それでドイツに行ったのがきっかけです。それでドイツ語をもう少し勉強してみようかなと思いました。
新しいものも見えるし、海外に住んでみたいなあと思っていたのも理由です。
心臓外科に入局した当初は女性心臓外科医は珍しがられ海外での女性の活躍に興味がありました。ドイツの先生のもとで大学院の研究テーマを掘り下げたかったこと、またドイツでは症例数がかなり充実していることもあるなどいろいろ理由が重なりました。

11:30

既読
11:37

女性にとっての海外で働くことの利点について教えてください！



内藤先生

日本にいたときは、市中病院はかなり体力的にも厳しかったです。日本の心臓外科施設はかなり分散し乱立しているのに比べドイツは日本よりも高い罹患率の患者さんが少ない病院（80施設）に集約されるので経験数を積むには適していると思います。
あとドイツに来てからは気持ちの余裕もふえ、より丁寧に一人一人の患者さんに向き合えている気がします。

12:53

既読
13:01

今働いていらっしゃる病院には女性の医師は何人いらっしゃいますか？



内藤先生

今ドイツは女子の医学生が増えているみたいで、医局は45人くらいいるんですが12人くらいが女性です。
ただ、残念ながら上に行くほど女の人は少ないですね。やっぱり男女の差が全くないかと言われるとそうでもないで...昇進していった人はまだ少ないです。
でも日本よりは上ののぼりやすいですね。

13:24

既読
13:26

ドイツで働いているときの1日スケジュールはどんな感じですか？



内藤先生

私は今病棟は一切見ないで手術だけしているんですけど、7時半にカンファレンスが始まって、8時くらいにICU回診、8時15分くらいから一例目の手術が始まりますね。大体午前午後で2例×3室の手術があってそのうちあたっている手術に入る形です。大体二例やると15時～16時ごろに終わります。
手術がない時間は研究したりできます。
呼出の当直が大体月に4回くらいで、その日は午後から出勤です。
今は手術だけしていたらいいよという環境にさせてもらっているので集中してできるし勉強する気にもなります（笑）
週一でジムに行ったり、週末にショッピングしたり、自分の時間を持てるのがいいですね。

13:36

既読
13:43

女性が心臓外科を目指すことについて、どう思われますか？心臓外科の手術って綺麗だし芸術的だし...女子は興味はあるけど諦めがちな職業だと思います。何かアドバイスはありますか？



内藤先生

躊躇する理由が「女の人がやっていけそうにない科だから」という状況を少しでも改善できたらいいなあと思います。
私が心臓外科を続けていくことで誰かが「私もできるかな」と思ってくればなあと思います。学問として興味を見出すのであれば続けていってほしいし、意外と女の人が重宝される科です。
小さくて薄い女性の手は心腔内でも心臓を圧迫しにくく、また繊細な手術にも適します。コンベンショナルな胸骨正中開胸を要する手術だけでなくMICS, TAVIなどのインターベンション、血管外科など様々な専門から自分に合う働き方を男女問わず見つけていけるとと思います。

14:54

今回の学び



- ①ヨーロッパはやっぱりその国の言語で話すことになるので、きっかけがないとなかなか難しいかもしれません…。
- ②最近では女医増加傾向のドイツ、これからもっと働きやすくなるかも！
- ③興味のある女の子は、諦めないで一回チャレンジしてみた方がいい！

内藤先生、ありがとうございました😊